

# JaLC update (メンバーミーティング)

---

Japan Link Center (JaLC)

2025年1月27日

- 会員数、DOI登録数等の状況
- 2024年度の取り組みについて
- 今後の予定

## 会員数、DOI登録数等の状況

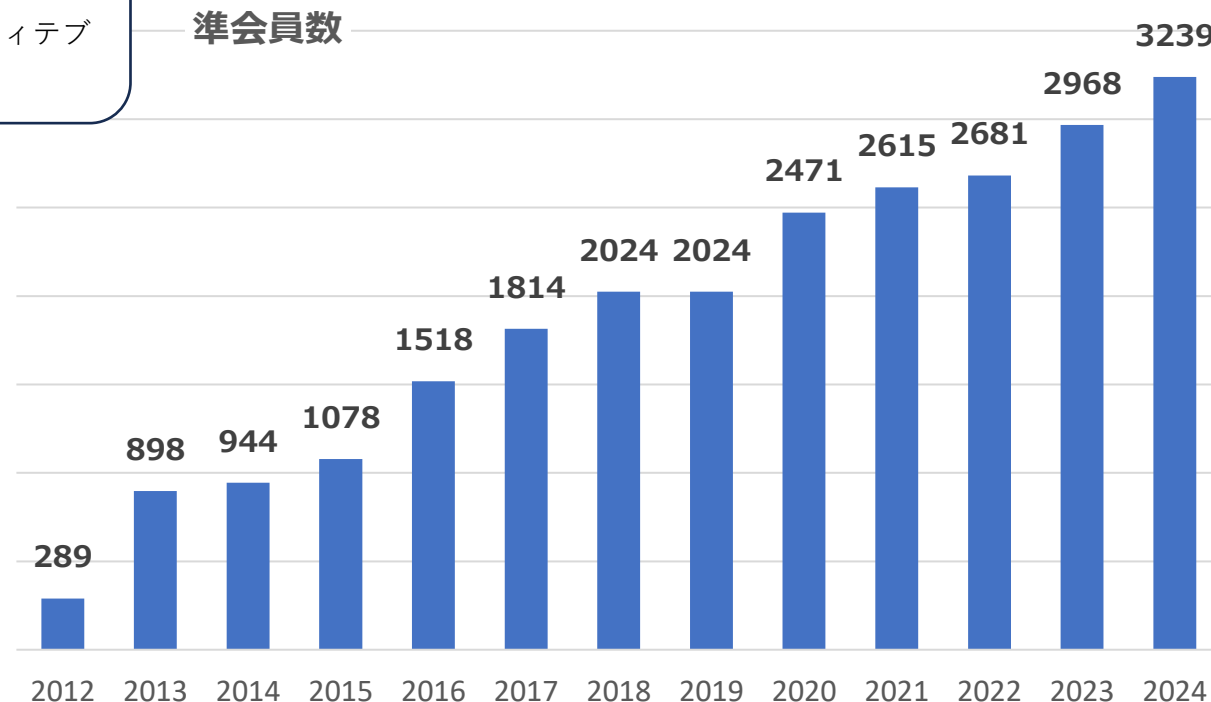
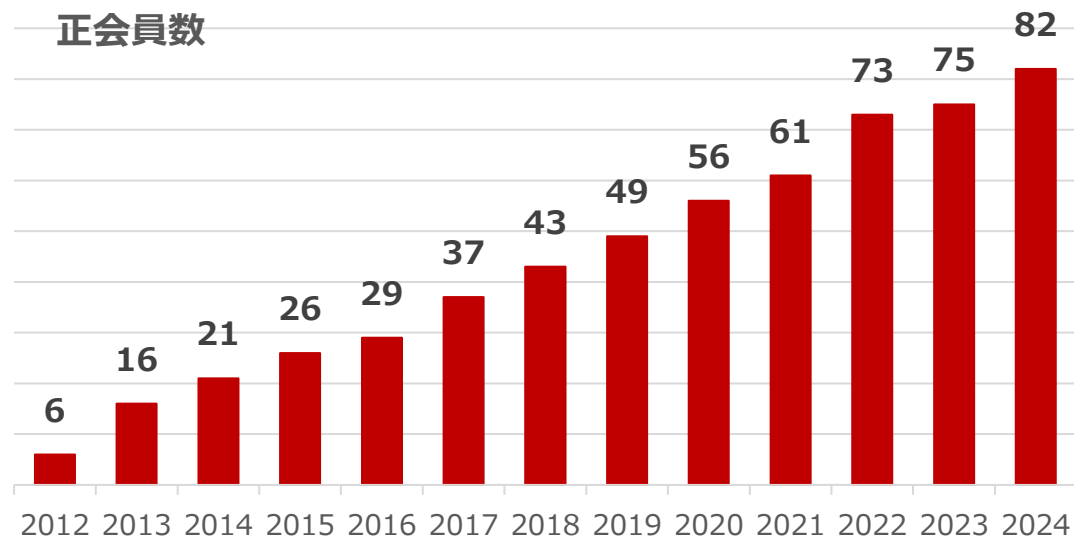
# JaLC会員数の推移

正会員：82機関（累積92機関）、準会員：3,239機関（2024年12月末時点）

<今年度新規入会 7機関>

- 理化学研究所 ●特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所 ●一般財団法人ソフトウェア情報センター ●東海国立大学機構 名古屋大学 糖鎖生命コア研究所 ●ナカシャクリエィテブ株式会社 ●アドバンスソフト株式会社 ●日本腰痛学会

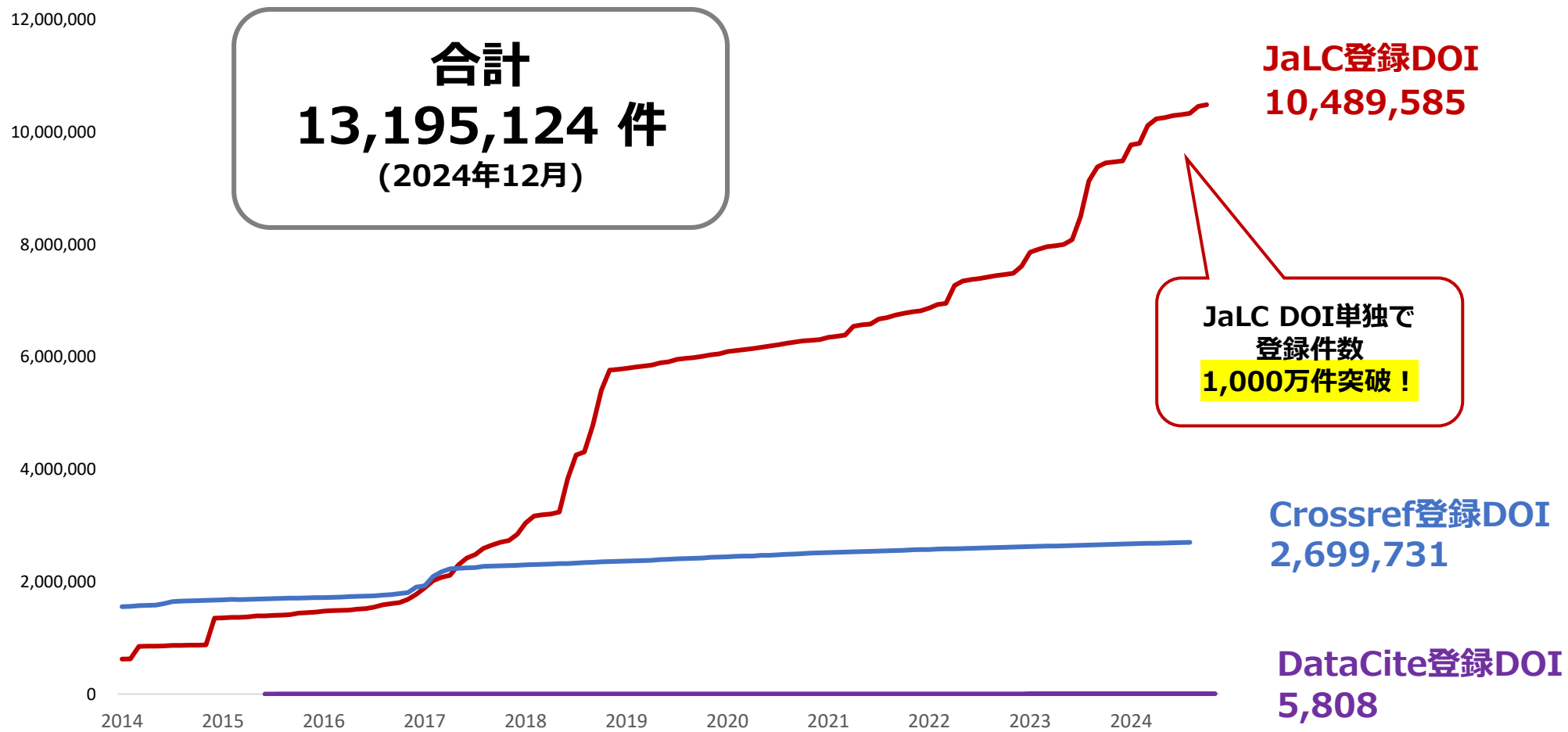
準会員数



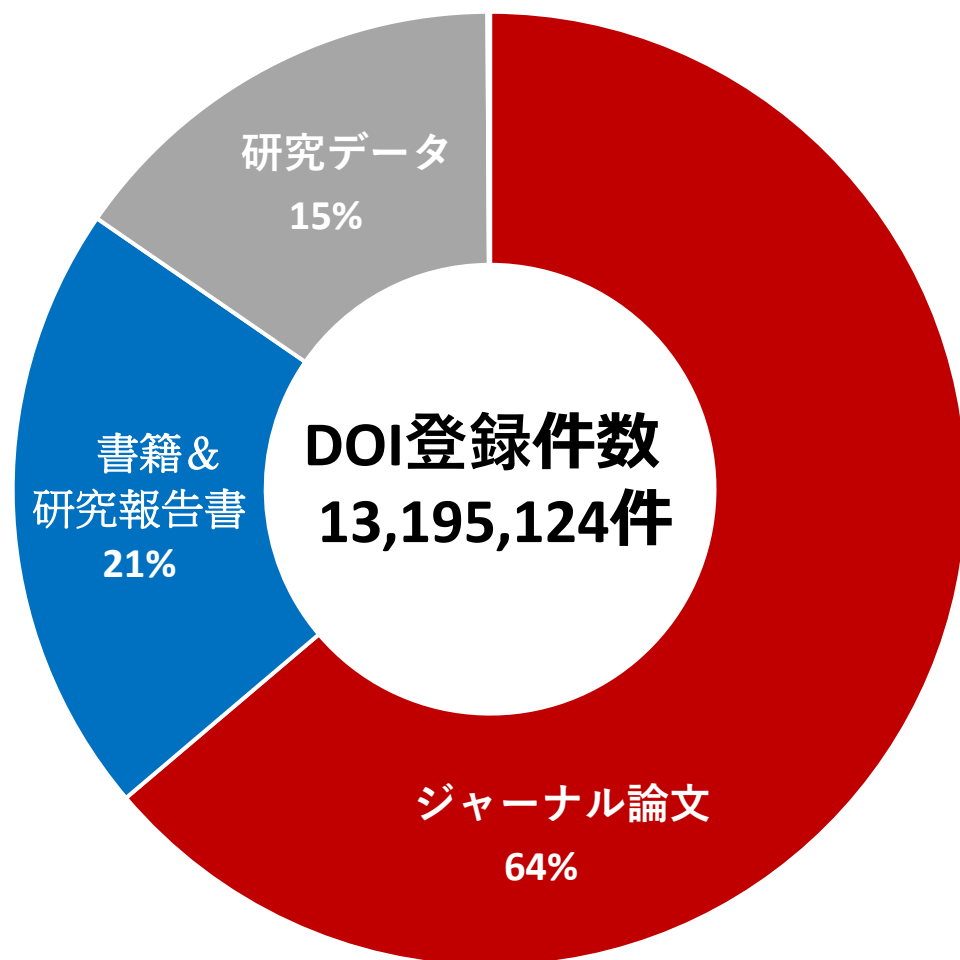
正会員：直接JaLCのDOI登録サービスを利用している国内の研究機関、学会、出版社等

準会員：正会員を通してDOIを登録している国内機関

# JaLCにおけるDOI累計登録件数推移



## コンテンツ別DOI登録状況



■ ジャーナル論文 842万件

昨年から  
約26万件増

■ 書籍 & 研究報告書 270万件

昨年から  
約40万件増

■ 研究データ 200万件

昨年から  
約35万件増

■ その他 12,036件

(2024年12月末時点)

- ORCID ID** : 研究者を対象とした国際的な永続識別子。
- ORCID連携（手動）** : JaLCコンテンツ検索より自身の研究実績を選択し、ワンクリックでORCIDに業績登録する機能。
- ORCID連携（自動）** : JaLC DOIが付与されたコンテンツを、研究者の業績情報としてORCIDに自動登録する機能。

（累計）	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年12月
JaLCの機能を利用してORCIDに手動連携された業績数	9,184	15,769	18,667	21,325	23,681
JaLCの機能を利用してORCIDに自動連携された業績数	6	21	28	47	61
JaLC ORCID自動連携機能利用者数	39	59	131	326	584

コンテンツのメタデータにORCID IDを登録することで、自動連携可能になります。  
 研究者の業績管理負担軽減のため、  
**JaLCメタデータについて、ORCID IDの登録を推奨します。**

# 2024年度の取組みについて



# 拡大運営委員会の設置（7月）

より広い意見を運営へ活かす。透明性の高い事業運営を行う。

JaLC会員や有識者など幅広いメンバーで構成する拡大運営委員会を設置。  
イベントの企画・運営やJaLC事業運営、IT技術に関して幅広い視点で議論。

## 【令和6年度JaLC運営体制】

### <運営委員>（4名）

- ◎武田 英明 国立情報学研究所
- 中島 律子 科学技術振興機構
- 小林 芳幸 国立国会図書館
- 田辺 浩介 物質・材料研究機構

◎委員長、○副委員長

### <拡大運営委員>（8名に運営委員を加えた、計12名）

- 上田 哲史 大学ICT推進協議会（徳島大学）
- 大澤 剛士 日本生態学会（東京都立大学）
- 大向 一輝 東京大学
- 黒沢 俊典 NPO医学中央雑誌刊行会
- 白井 知子 国立環境研究所
- 中西 秀彦 中西印刷株式会社
- 野中 雄司 京都大学附属図書館
- 三角 太郎 東北大学附属図書館

## 目的から簡単に情報へアクセスできるよう、「目的別ナビゲータ」を追加。

### < 主なりリニューアルポイント >

- 「目的別」で探すナビゲータを追加し、「DOIについて知りたい」「DOIを登録したい」「登録された情報を活用したい」など目的から情報にアクセスできるようにしました。
- 「各機関のDOI登録・活用の取り組み」「DOIやPIDの国際的な動向」として、過去イベントにおける各機関からの発表資料を整理し、活用しやすくしました。

各機関のDOI登録・活用の取り組み						
大学・研究機関		出版社・書誌データベース		研究データ		
大学・研究機関						
タイトル	資料	動画	機関・出版社など	発表者	発表日	イベント・掲載誌
JAMSTEC におけるデータへの DOI 付与の取り組み	<a href="#">PDF(1.184KB)</a>	<a href="#">YouTube</a>	海洋研究開発機構	福田 和代	2024/01/25	<a href="#">対話・共創の場 (第10回)</a>
京都大学におけるDOIの活用	<a href="#">PDF(1.836KB)</a>	<a href="#">YouTube</a>	京都大学附属図書館	安原 通代	2024/01/25	<a href="#">対話・共創の場 (第10回)</a>
DataCiteを選んだ理由--Materials Data RepositoryにおけるDataCite DOIの利用	<a href="#">PDF(3.103KB)</a>	-	物質・材料研究機構	田辺 浩介	2023/06/22	<a href="#">JOSS2023</a>
生命科学分野におけるDBとウェブツールの活用に関する動画教材へのDOI登録	<a href="#">PDF(11.376KB)</a>	<a href="#">YouTube</a>	ライフサイエンス統合データベースセンター	小野 浩雅	2022/12/15	<a href="#">対話・共創の場 (第9回)</a>
香川大学学術情報リポジトリにおけるDOI事始め	<a href="#">PDF(981KB)</a>	<a href="#">YouTube</a>	香川大学図書館	叶井 貴一郎	2022/12/15	<a href="#">対話・共創の場 (第9回)</a>



JaLC WEBサイト <https://japanlinkcenter.org/top/index.html>

## 2015年の初版発行からの9年間に蓄積されたノウハウや事例を反映

### <2015年版からの主な改定点>

- ・ 主な想定読者を① 組織・機関責任者、② 実務者、③ 研究者・データ作成者に分類。各章の対象として想定する読者を明示。
- ・ 新たに「3. 研究データへのDOI登録の方針」章を追加。  
FAIR原則を支える基盤としてのDOIの登録の意義や、  
「データの引用」「データの管理」といった研究フェーズに対応した研究データに登録したDOIの利用方法について記載。
- ・ 研究機関における研究データへのDOI登録や活用事例を拡張。

「研究データへのDOI登録ガイドライン」

(2024.6.3 RDUF研究データへのDOI登録促進小委員会)

[http://doi.org/10.11502/rd\\_guideline\\_2e\\_ja](http://doi.org/10.11502/rd_guideline_2e_ja)



# 「JaLCミニセミナー -DOIとDOI登録の基礎-」開催

## DOIやJaLCの基本的な仕組みや役割について分かりやすく解説

- DOIやJaLCの基礎的な事項を知りたい方向けに、昨年度から実施。  
(11/18、オンライン)  
※昨年度は「JaLC説明会」として実施。
- 大学附属図書館やDOI登録の実務担当の方を中心に、たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。(視聴数、最大204名)



説明会資料・当日Q&A、動画はWEBサイトにて公開しています。

<https://japanlinkcenter.org/top/event/2024jalcdoidoi.html>

## コンテンツ登録マニュアル XMLフォーマットガイドの利便性向上

- 研究データのXMLフォーマットガイドをHTML化
- JaLCメタデータ項目の当該説明ページへ直接リンク可能に。  
国立国会図書館「メタデータ流通ガイドライン：研究データ編」にて活用。
- 他のコンテンツタイプについても順次、HTML化を進める予定。

ジャーナルアーティクル (XMLフォーマット・Webインターフェイス)  
HTML版、2025年3月公開予定！

- コンテンツ区分：研究データについて、内閣府の『メタデータ共通項目』※  
に対応する改修を実施。
- OAI-PMH, REST APIによる該当項目の出力も可能に。

具体的には…

- アクセス権 (access\_rights)
- リポジトリ情報 (repository\_nameなど)

※内閣府「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」  
メタデータの共通項目（2023年3月31日版）

# 今後の予定

### ■ システム改修

- 連携促進を目的とした、REST APIの検索機能の追加拡充
- コンテンツ区分「論文」に対するライセンス情報、筆頭著者等の追加
- 被引用情報の収集精度の向上
- 大量DOI登録に対応した新データベースへの刷新(調査)

### ■ 外部連携の促進

- 英国の機関リポジリアグリゲーターCORE 等

### ■ 広報・コミュニティ活動

- 第12回 対話・共創の場
- JaLC ミニセミナー
- 研究データ利活用協議会 (RDUF) … 公開シンポジウム等